

## 平成28年度 第7回教育研究評議会議事要録

日時 平成28年11月10日(木) 14:00～16:15  
場所 事務局第1会議室  
出席者 三村学長, 尾崎理事, 太田理事, 袖山理事, 影山理事, 米倉副学長, 佐川人文学部長, 生越教育学部長, 折山理学部長, 馬場工学部長, 久留主農学部長, 木村全学教育機構長, 高橋図書館長, 田中評議員, 蓮井評議員, 荒川評議員, 小野寺評議員, 田内評議員, 吉田評議員, 増澤評議員, 伊藤評議員, 中石評議員, 後藤評議員

欠席者 無し

陪席者 増子監事, 中庭監事, 泉岡副学長, 栗原学長特別補佐, 横木学長特別補佐, 鈴木学長特別補佐, 内田学長特別補佐, 原口学長特別補佐, 羽瀧学長特別補佐, 大塚執行部スタッフ, 総務部長, 財務部長, 学務部長, 学術企画部長, 総務課長, 大学戦略・IR室副室長, 広報室副室長, 地方創生推進室副室長, 社会連携課長, 財務課長, 学務課長, 留学交流課長, 学生生活課長, 各学部事務長

### 議 題

#### 審議事項

- 1 全学教育機構の組織と運営体制について
- 2 茨城大学とシドニー工科大学との覚書の締結ならびに留学生交換協定の再締結について
- 3 教員の休職について
- 4 国立大学法人茨城大学における規則等の制定改廃に関する規則の一部改正について
- 5 茨城大学学則及び茨城大学大学院学則の改正について
- 6 その他  
・国大協総会(H28.11.4)報告について

#### 報告事項

- 1 障害者差別解消法と合理的配慮提供の実際について
- 2 教育職員免許法の改正に伴う再課程認定のスケジュール及び全学教職センター・教育学部共催FDの開催について
- 3 教員の人事について
- 4 平成29年度入学試験等について
- 5 平成29年度推薦入試及び社会人入試の志願状況について
- 6 平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について
- 7 工学部・理工学研究科(博士前期:工学系)の改革について【中間報告】
- 8 日越大学プログラム運営委員会の設置について
- 9 その他

## 議 事 概 要

### I 審議事項

## 1 全学教育機構の組織と運営体制について

学長から、審議事項としているが、全学教育機構の組織と運営体制について説明の上議論の場としたい旨の提案があり、木村全学教育機構長から資料1に基づき説明があった。

### 【主な意見】

- 教員の業績評価を、機構長及び副機構長のみで行うのは難しいのではないかと。
- 全学教育機構会議の定足数に兼務教員を含めても良いのか。また、全学教務委員会や大学院委員会などを統合し、教育改革推進委員会を設置するとあるが、学部と大学院の教務を統括しているのは学部長であるため、教育改革推進委員会委員は学部長を想定しているのか。
- 副学部長もしくは学部長補佐、全学教務委員会委員長、大学院教務委員会委員長の3パターンで検討しており各学部2名程度を想定している。各学部においても教務系の委員は、学部執行部の教員が兼ねるような方向で検討していただきたい。
- 教育改革推進委員会の会議の進め方として、学部に関する会議、大学院に関する会議、全体的な教育改革に関する会議として、議題に応じて3タイプを想定している。
- 全学教育機構の事務組織はどのようになるのか。
- 現状では、部門の中へ各センターが設置されることに伴い、それらに付随して各課が直接、設置されることを構想している。
- 各学部の事務組織は人数が減少し、業務の遂行が難しくなっており弱体化している。事務組織の再配置に関して、それぞれの機能が最大限発揮できるように検討していただきたい。懸念されるのは部門、センターが設置されることにより、現行の学務部以上に事務組織が肥大化されることによって、各部局・各学部の事務組織がより弱体化していくことに繋がりがねないため、全学的な視点に立って事務組織を検討していただきたい。
- 単に全学教育機構の事務組織を整えることではなく、特に水戸地区については学務部分の一元化が大きな課題である。学務部分の業務の整理を検討し、それに応じて全学教育機構の事務組織の在り方などに関連しつつ整理していく。現状では、全学教育機構の設置をもって事務職員の人数を増加することはないが、現在の業務について整理・効率化を行い、重複する業務を排除し配置を検討していく。
- 部門会議の委員が教務委員長等ならば、各部門会議の委員が重複するのではないかと。
- 教育改革推進委員会、全学教育機構会議、各部門会議などの委員が重複しないよう分担の配置を検討していく。
- 各部門に専任教員の内数に振興教員とあるが、振興教員の任期が切れた後の構成はどのようにするのか。
- 一つの方法として、次のフェーズのプロジェクトの獲得を目指す、或いは同じような計画や補助金などへアプライできるように実績を作り繋いでいく。また、ある部門が本学の教育業務にとって革新的であり、しっかりとパーマメントの教員が担う必要があるのであれば、ポイントをひねり出すことを検討していく。

## 2 茨城大学とシドニー工科大学との覚書の締結ならびに留学生交換協定の再締結について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、尾崎理事から資料2に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

### 3 教員の休職について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、佐川人文学部長から資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

### 4 国立大学法人茨城大学における規則等の制定改廃に関する規則の一部改正について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、総務課長から資料4に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

### 5 茨城大学学則及び茨城大学大学院学則の改正について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、総務課長から資料5に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

### その他

・学長から、審議事項としているが、国大協総会（H28.11.4）報告について重要な内容であるため報告したい旨の提案があり、資料その他1に基づき説明があった。

## II 報告事項

### 1 障害者差別解消法と合理的配慮提供の実際について

全学教育機構バリアフリー推進室矢嶋教員から、資料6に基づき報告があった。

### 2 教育職員免許法の改正に伴う再課程認定のスケジュール及び全学教職センター・教育学部共催FDの開催について

生越教育学部長から、資料7に基づき報告があった。

### 3 工学部・理工学研究科(博士前期:工学系)の改革について【中間報告】

馬場工学部長から、資料12に基づき報告があった。

### 4 日越大学プログラム運営委員会の設置について

尾崎理事から、資料13に基づき報告があった。

### 5 その他

- ・鈴木学長特別補佐から、平成29年度科研費新規応募状況部局別一覧について報告があった。
- ・折山理学部長から、理学部FD講演会「本当の人工知能研究」の開催について報告があった。
- ・佐川人文学部長から、学部アドバイザーボードの選出などについて質問があった。

## III 監事からの意見

・全学教育機構の運営体制について、様々な会議などで検討されてシンプルかつスマートな形になったことは評価できるが、全学教育機構規程や運営会議細則の文言などについての整理や修正が必要である。また、事務組織については、以前から意見を述べているが、各学部でたたき台を作ることは結構だが、やはり、業務の内容や量、配置する人数、財源の問題、業務の重複など

について総務部的な観点から全学的な精査を行い、しっかりとした事務組織を作っていたきたい。

- ・全学教育機構の運営体制について、これまでの議論が反映されてシンプルになりスピーディーな運営に繋がるものになったが、これまでにない視点からの意見があり、新しい組織を作るときには、整合性を付けるために多くの見直しが必要であることをあらためて認識した。今回は、この見直しの良い機会であるので、全学教育機構に関わる事務組織を含めながら、不都合があれば変わることを良しとして柔軟に進んでいただきたい。次に、大学入試改革について、約56万人がセンター試験を受験する中で、「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」の記述式を、どのように採点するのかなどについて注目していたが、国大協総会の報告を受けて、予想通りトーンダウンしているように思われる。そのような中で本学がアドミッションポリシーに基づき、どのようにして入学させたい学生を入学させるのかについての議論が早急に必要である。高大接続協議会が立ち上がっているので、その様な場を活用して、高校が本学に期待すること、また、本学が高校生に求める力、そのようなものを具体的に議論の場に上げていただきながら、今後、本学として入学して欲しい学生が入って来られる入試を大胆に作っていただきたい。

#### IV その他

教育研究評議会会議資料の公開について

学長から、資料の公開について、以下のとおり確認があった。

非公開：資料3 全て公開する。

次回 教育研究評議会開催

12月8日（木） 14時00分から